

平成 24 年度 事 業 報 告 書

I 法 人 本 部

社会福祉法人啓和会は、平成 24 年度事業計画に基づき、設立の理念と公益性を踏まえ、多様化する福祉ニーズに応えられるよう、提供するサービス機能の整備を行うとともに、その質の向上に努めました。さらに事業経営の透明性の維持と社会情勢の変化に柔軟に対応できる経営姿勢で事業基盤の強化を図りつつ、次に掲げる事業の経営を行いました。

経 営 施 設 等 一 覧

	施 設 名	施 設 種 別	所 在 地	開 設 年 度	利 用	定 員
第 一 種 社 会 福 祉 事 業	久喜けいわ	障害者支援施設	久喜市六万部 1435	(昭和 63 年 7 月)	入 所 通 所 通 所 通 所 入 所 通 所	60 67 15 24 6
		施設入所		平成 21 年 6 月		
		生活介護		〃		
		就労移行		平成 22 年 3 月		
		就労継続 B 型		〃		
		短期入所		平成 10 年 4 月		
	日中一時 (公益事業)	平成 18 年 10 月				
第 2 種 社 会 福 祉 事 業	ケアホーム清久	障害福祉サービス事業所 共同生活介護	久喜市上清久 1524-1	平成 18 年 10 月	入 居	26
	久喜市いちょうの木	障害福祉サービス事業所 生活介護	久喜市所久喜 835-1	(平成 19 年 4 月) 平成 24 年 4 月	通 所	40
	久喜市立のぞみ園	児童発達支援事業	久喜市北青柳 1331	(平成 22 年 4 月) 平成 24 年 4 月	通 所	10
	久喜市ゆう・あい	障害福祉サービス事業所 生活介護	久喜市上内 327-6	平成 24 年 4 月	通 所	20
	久喜市あゆみの郷	障害福祉サービス事業所 生活介護 就労継続 B 型	久喜市東大輪 2273-1	平成 24 年 8 月	通 所	10 10
	埼玉北障害者生活 支援センター	相談支援事業	久喜市青毛 753-1	平成 18 年 10 月	—	—

公益事業	埼玉葛北障害者生活支援センター	障害児（者）等療育支援事業 埼玉県地域生活定着支援センター事業 子どもの発達支援巡回事業	久喜市青毛 753-1	平成 11 年 10 月 平成 22 年 5 月 平成 23 年 9 月	—	—
	久喜市障害者就労支援センター	久喜市障害者就労支援事業	久喜市青毛 753-1	平成 16 年 6 月	—	—
	埼玉葛北障害者就業・生活支援センター	障害者就業・生活支援センター事業	久喜市青毛 753-1	平成 19 年 4 月	—	—
	久喜市趣味の家	心身障害者デイケア施設	久喜市鷲宮 6-1-6	平成 24 年 4 月 (平成 24 年 7 月まで)	通所	20

啓和会が掲げる設置理念の目指すところは、障害のある人の地域での生活を実現するインクルーシブな社会を構築することにあります。そのキーワードは、地域であり、住民であり、住民とのつながりであることを私たちは常々強調してまいりました。

その趣旨で、昨年度に取得した清久地区の住宅は、住民との話し合いで「ふれあいの家しらはた」と名付けました。

利用状況は、高齢者のデイサービスや住民打ち合わせの場所にも、久喜けいわやケアホームの入居者と清久地区婦人会員との合同の趣味活動の場としても使われています。

24 年度も、法人の理念「人間の尊重と地域社会との共生」のもとに、多機能のサービス提供施設である「久喜けいわ」を障害のある人を地域で支える拠点として、支援センターのコーディネーター機能を駆使して、法人が経営する事業所間の有機的な連携を図り、質の高いサービスの提供とセーフティネットの役割を果たすことを基本的な立脚点としました。

内部整備として十分でなかった久喜けいわとワークセンターの一体化として 24 年 1 月に行った体制の一部変更後は、生活基盤である施設入所支援と生活介護支援及び就労系の支援の有機性をさらに高めるために、職員の稼働を横断的に行なえるよう徹底しました。

さらに、サービスの質の向上と業務の効率化を図るために生活支援ソフト「福祉見聞録」を導入し、運用の準備を完了しました。これにより、PDCA サイクルによる進行管理及び記録の整備が確立する予定です。今後は、他事業所にも導入する予定です。

24 年度事業計画になかった事案では、災害時緊急避難対策として国の平成 25 年度防災拠点スペース増築整備事業があり、用地確保準備及び関連する事務手続等を行いました。

平成 24 年度は、久喜市いちょうの木が知的障害者更生施設から、新体系の障害福祉サービス事

業所（生活介護）に移行したほか、久喜市立のぞみ園も児童デイサービス事業所から、児童発達支援事業所に移行しました。

新規事業は、4月より久喜市から指定管理事業所久喜市ゆう・あい（生活介護）、久喜市趣味の家（心身障害者デイケア施設）、8月には新体系の障害福祉サービス事業所（生活介護・就労継続B型）に移行し、名称も久喜市あゆみの郷にあらたまりました。

I 本部事業

1 役員会・評議員会及び監事会の開催

日 時	議 題	場 所	出席状況
平成 24 年 5 月 17 日（木） 監事会 14：00～17：30	1 平成 23 年度理事の業務執行状況 2 平成 23 年度財産の状況	久喜けいわ	監事 2 名 常務理事 幹部職員
平成 24 年 5 月 24 日（木） 第 51 回評議員会 10：00～12：00 第 81 回役員会 14：00～15：30	1 役員人事について 2 平成 23 年度事業報告について 3 平成 23 年度決算について 4 規程の一部改正・制定について（給与規程、運営規程） 5 その他	久喜けいわ	評議員 15／19 理事 8／9 監事 2／2
平成 24 年 9 月 25 日（火） 第 52 回評議員会 10：00～11：30 第 82 回役員会 14：00～15：00	1 人事について 2 平成 25 年度防災拠点スペース増築整備事業について 3 給食サービス業務委託契約の更新について 4 定款の一部変更について 5 規程の制定・一部改正について（運営規程、経理規程） 6 平成 24 年度第 1 回補正予算（案）について 7 その他	久喜けいわ	評議員 15／19 理事 7／9 監事 2／2
平成 25 年 3 月 21 日（木） 第 53 回評議員会 10：00～12：30 第 83 回役員会 14：00～15：30	1 幹部職員の人事について 2 平成 24 年度補正予算（案）について 3 平成 25 年度事業計画（案）について 4 平成 25 年度予算（案）について 5 規程の一部改正について（給与規程、就業規則、運営規程）	久喜けいわ	評議員 15／19 理事 7／9 監事 2／2

	6 その他		
--	-------	--	--

- * 5月役員会の人事案件は、評議員の選任について。
- * 9月役員会の人事案件は、理事・評議員の選任、久喜けいわ幹部職員の昇格昇任について。
- * 3月役員会の人事案件は、幹部職員（事務長）の退任について。
- * 9月の定款変更は、相談支援事業が一般、特定、障害児相談の3事業に区分化されたことに伴う変更、「のぞみ園」が児童デイサービスから障害児通所支援事業に体系移行したことに伴う変更。「久喜市趣味の家」が8月で事業終了したことに伴う公益事業の削除のための変更。

2 幹部会議の開催

経営会議の要素を含め、定例、臨時を併せて14回の幹部会議を開催しました。常務理事以下、各事業所の主任以上の幹部職員が参加していますが、課題解決には時間がかかりすぎる傾向があり、具体的に早期解決を要する案件については、施設長が招集する小さなミーティングが有効でした。自主的な提案、意見交換にはまだ工夫が要されています。

3 経営財源の確保

- (1) 幹部会議における毎月の執行状況のチェックと「地域におけるセーフティネットの役割を果たす」としたスタンスの徹底で、各事業所とも利用率は良好であったことと、今年度から栄養ケアマネジメント加算が認められたので自立支援費収入が増えました。

寄附金については本部嘱託職員による啓発啓蒙活動で後援会からの収入が増えました。

- (2) 財務分析による効率的経営、業務改善による人件費節約

目標管理は全事業所、概ねできていますが、3%の経費削減は電気料金の値上げ（約15%）等あり数字としては達成できませんでした。短時間勤務職員の配置増、業務の見直し等により時間外勤務時間の削減につながりました。

- (3) 寄付、助成金の活用による財源確保

・24年度は、次とおり、企業、団体及び個人からの寄付を受け入れました。

寄 附 者	金 額
(本 部)	
恵比寿化成様他4企業・3団体	1,360,000円
宮川耕一様他96名の個人	4,878,050円
小 計	6,238,050円
(久喜けいわ)	
ボーイスカウト久喜団様他3団体	580,000円
池並雪枝様他3名の個人	234,000円
小 計	814,000円
(いちょうの木)	
清久婦人会様他2団体	24,000円
小 計	24,000円

(あゆみの郷)	
親の会様	5,000円
小計	5,000円
合計	7,081,050円

・税額控除対象となる社会福祉法人の証明を受ける要件である3,000円以上の寄附者は100人を超え、申請できる条件が整いました。

・次のとおり、助成金を受け入れました。

内 容	金 額
(本 部)	
埼玉県発達障害福祉協会重点事業補助金 (歯科保健事業)	267,000円
埼玉労働局 特定就職困難者雇用開発助成金 (母子家庭の母)	165,760円
埼玉労働局 特定就職困難者雇用開発助成金 (60歳以上の者)	250,000円
合計	682,760円

4 施設整備等

(1) 下記の施設整備を実施しました。

① 利用者の利便性を高めるため、危機管理対応のための整備

事 業 内 容	事 業 費 (円)	財 源 (円)
1 受水槽、浄化槽ポンプ部品等交換工事	504,000	自己資金
2 厨房冷凍庫(けいわ生活棟)入替	711,900	〃
3 自立棟給湯ボイラー缶体交換工事	1,785,000	〃
4 非常用照明器具竹田バッテリー交換	182,280	〃
5 大型洗濯機インバーター交換	130,095	〃
6 厨房食器洗浄機(けいわ生活棟)入替	945,000	〃
7 生活棟消防設備修理工事	294,000	〃
8 医務室高圧蒸気滅菌機入替	283,500	〃
9 久喜けいわ本体サーバー設置工事	1,518,195	〃
10 福祉見聞録用サーバー設置工事	1,128,750	〃
11 ケアホームのざわら床絨毯防火対応工事	263,109	〃
12 生活棟屋上防水シート補修工事	638,148	〃
13 厨房スチームコンベクション(生活棟)入替	1,386,000	〃
14 ケアホーム防火・防災対応整備	118,199	〃
計	9,888,176	

② 業務の効率化のための整備工事

事業内容	事業費(円)	財源(円)
1 しらはた改修工事	433,191	自己資金
2 生活棟玄関前舗装復旧工事	157,500	〃
計	590,691	

③ サービスの質の向上、業務の効率化のための整備

事業内容	事業費(円)	財源(円)
1 生活支援ソフト「福祉見聞録」	1,417,500	自己資金(リース)
計	1,417,500	

①+②+③ 総額	11,896,367	全額自己資金
----------	------------	--------

(2) 喫緊に整備を要するものとして、味噌の増産に伴う醸造保管倉庫(鉄骨、約50㎡)の整備があります。

5 危機管理の体系化と対策の強化

危機管理委員会の再編成を行い、災害対策(火災、地震、暴風雨、水害等)と感染予防の体系化と強化を図り、職員・家族・関係機関の緊急連絡網(携帯・固定電話とIT)と大方の防災器具等を整備し、家具の固定化等も行いました。

6 借入金の償還状況

借入年度 借入先	借入額	期首残高	平成24年度 償還補助金	平成24年度 償還金	借入残高
平成18年度 埼玉県民間社会福祉 施設整備促進資金 借入金(生活介護)	円 1,500,000	円 750,000	円 元金 150,000 利子 5,113	円 元金 150,000 利子 5,113	円 600,000
平成18年度 埼玉県民間社会福祉 施設整備促進資金 借入金(就労継続)	12,969,000	6,484,500	元金 1,296,900 利子 44,215	元金 1,296,900 利子 44,215	5,187,600
平成8年度 福祉医療機構 (生活介護)	67,000,000	16,750,000	利子 3/4 364,312	元金 3,350,000 利子 485,750	13,400,000

平成 18 年度 福祉医療機構 (就労継続)	25,000,000	19,650,000		元金 1,310,000 利子 360,905	18,340,000
埼 玉 県 計	14,469,000	7,234,500		1,446,900	5,787,600
福祉医療機構 計	92,000,000	36,400,000		4,660,000	31,740,000
合 計	106,469,000	43,634,500	1,934,108	6,106,900	37,527,600

7 地域福祉活動

(1) ケアホームの入居者のバックアップ (久喜けいわ)

前年に引き続き、法人本部では事務的業務、久喜けいわからは支援、医療、栄養面で、また、相談センターは各種相談や手続き等を行いました。

栄養面では、栄養ケアマネジメントの支援により、肥満の修正や塩分の管理等で成果があげられています。

(2) 障害者福祉ニーズの調査

24年度の障害者福祉ニーズの調査は、相談センターが受けた相談内容から分析し、傾向を把握しました。

(支援センターで詳細、再掲)

生活に関するニーズ 50%

施設に関するニーズ 20%

医療に関するニーズ 17%

職業に関するニーズ 10%

教育に関するニーズ 3%

(3) 久喜市知的障害者青年学級運営委員を派遣しました。(久喜けいわ・いちょうの木・支援センター)

(4) 地域にむけた療育研修の実施

埼玉県発達障害福祉協会の助成金を受けて、法人と久喜市歯科医師会との共催で、入所利用者と在宅の知的障害者のための歯科保健事業を行ないました。

○事業内容

- 1 入所施設利用者と地域利用者の歯の衛生管理の実態調査
- 2 歯科健診による実態把握と健診結果を踏まえた歯科医による助言指導、意見交換
- 3 歯科健康診断票の作成と利用者本人、家族への説明
- 4 歯科衛生士によるブラッシング指導 (久喜けいわ、地域施設)
- 5 歯科医と歯科衛生士による歯の健康と口腔ケアの研修

6 地域の歯科医院の利用ガイドブック作成

7 評価会議の実施

受診者は、入所利用者 60 名、地域利用者 109 名でした。詳細は、報告書を作成中なので後日報告をする予定です。

今後は、法人の地域福祉活動として毎年継続する予定です。

(5) 協力医療機関の開拓

久喜市医師会齋藤久雄先生の紹介で、新規久喜市指定管理施設の嘱託医を委嘱することができました。

久喜市ゆう・あいについては、あかりクリニックの齋藤燈先生、久喜市あゆみの郷は、岸田医院の岸田敏博先生、協力医療機関については、東鷲宮病院にお願いすることができました。

(6) ふれあいの家しらはたにおける地域福祉活動

ふれあいの家しらはたを利用して地元高齢者のデイサービスの場として、地区の住民の打ち合わせの場所に、久喜けいわ、ケアホームの利用者と地元婦人会との合同の趣味活動の場として活用されています。

8 人材育成と人材確保

(1) 幹部職員の育成

- ・経営会議、幹部会議の定期開催に、主任以上を参加させ、会議を通して、PDCA のマネジメントを学習させました。
- ・サービス管理責任者の養成（ケアホーム・小林）を行ないました。
- ・業務コンサルタントを導入し、会議や研修を通してスーパーバイズを受けました。
- ・即戦力になる幹部職員候補を総務課に採用しました。
- ・総務課主査を課長に昇格、支援センターの主査を久喜けいわに異動させ、課長に昇格、久喜けいわの主任を主査に昇格、支援課の 4 名を主任に昇格させました。

(2) OJT の充実、合同研修の実施

- ・主任を OJT 責任者として若手職員の指導を担当させました。不慣れな点もあり、成果が十分とはならず、次年度に期待をかけています。
- ・合同研修は全事業所参加で、新任・中堅・幹部について実施しました。研修の方法にはさらに工夫を要しています。

(3) ケアマネジメント従事者養成研修へ参加（相馬、高垣、飯泉、日下）しました。

(4) 各種資格取得の推進

- ・リスクマネジメントの上級の課程を主任（牧野）に取得させました。

(5) 職員の労働環境の整備、流出防止

- ・毎月の衛生委員会の開催により、労働環境の整備に努めました。
- ・メンタルヘルスに関する研修に総務課主査を派遣し、職員からの相談に対応できる体制を整えました。

- ・法人全職員に対し、腰痛予防の研修を行ないました。講師は、久喜総合病院の OT に依頼しました。

(6) キャリアパス制度の導入

- ・総務課長中心に導入を準備中です。

9 外部委託給食の評価

毎日の検食簿と毎月の給食会議で評価を行なっていますが、委託後の給食内容には満足の結果がでております。3年を経過したので、役員、保護者、職員で構成する評価委員会において検証した結果、引き続き日清医療食品株式会社と契約をすることにしました。

10 地域社会との連携の強化

- ・日常的活動による住民との連携は、全事業所利用者がいろいろな場面で地域行事や地域活動に自然な形で参加しており、好ましいつながりができてきています。特に、新しく指定管理を受けた久喜市ゆう・あいと久喜市あゆみの郷の事業所は、今までの連携をより強固にする形で努力しております。
- ・清久地区 67 区においては、防災対策について相互協定が結ばれています。
清久東部地区防災対策連絡協議会等を軸とする災害時相互支援体制づくりは、現在進行中です。
- ・ふれあいの家しらはたの活用は前述した通りです。前述したように有効に活用しています。

11 スポーツ振興事業等の推進

- ・マラソンクラブ、音楽クラブは多くのボランティアのサポートにより順調に活動しています。
引き続き本部は振興費の助成を行なっていきます。

12 広報活動の充実

- ・法人パンフレットは新設事業所を加え、更新をしました。
- ・法人のホームページに新設事業所の紹介ができるようになりました。月 1 回程度更新しました。職員採用については頻繁に更新しています。
- ・法人の会計報告はホームページによって行なっています。
- ・法人の事業活動紹介の DVD が広報の実をあげています。

13 家族会後援会との連携

- ・利用者の高齢化と医療の問題について、病院入院時の付添及び差額ベット代の自己負担の実情を通じて今後の対応策を協議しています。
- ・親亡きあと家族としての見守りを引き継ぐ人（後見人も含めて）について問題提起を始めています。
- ・本部嘱託職員が家族会・後援会の対外的活動と事務処理等について応援しております。

重点事項の達成状況

- 1 経営財源の確保（収入UPの努力）と全事業所3%の経費削減
 - ・経営財源の確保についてはほぼ達成しましたが、経費削減は数字としては達成できませんでした。詳細については前述したとおりです。
- 2 危機管理（リスクマネジメントを含む）の体系化と防災対策（火災、震災）と感染予防の強化
 - ・前述しましたが、80%程は達成しました。
- 3 人材育成と人材確保
 - ・育成については、OJTの充実が課題です。OJTには、一層の工夫と努力が要されています。
 - ・人材の確保はほぼできました。
- 4 利用者の高齢化への対応検討並びに整備目標と資金計画の策定
 - ・久喜けいわの旧棟増改築の検討に合わせて、整備目標の策定を行なう予定です。
- 5 ケアホームとして設置予定の賃貸住宅の改修
 - ・宮代町に設置予定のケアホームは、一部近接住民の同意が得られず、開設を断念しました。
 - ・久喜市内に新たに賃貸でケアホームを設置予定のある地主と賃貸契約について交渉中です。
(25年度9月頃の予定)
- 6 生活訓練棟の増築の検討
 - ・ワークセンター作業棟2階に増築を予定したが、建築基準法の耐震基準に低触して増築ができなくなりました。
- 7 新会計基準移行の準備
 - ・平成26年度予算策定時よりの移行をめざし、事務員2名を移行に関する研修に派遣し、新会計基準の理解に努めました。会計システム業者とも数回打合せを行ないスムーズな導入ができるよう準備しております。
- 8 久喜けいわの旧棟増改築の検討と整備目標の策定及び資金計画
 - ・10年目安でありましたが、可能な限り早めに整備目標の策定を行います。